

登録No. S-041  
 登録名 Cetuximab/CPT-1 1 weekly療法  
 催吐性リスク 中等度+オプシオン  
 適応疾患 結腸・直腸癌  
 投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	グラニセトロンパック メロキシカム デキサメタゾン	100mL/body 5mg/body 6.6mg/body		d1・8・15・ 22・29・36	d.i.v	30min	d29、d36ではデキサメタゾンはイソソルギゾリアクソンなければ減量・中止可。 アプレピタント併用。
Rp.2	セツキシマブ 生食	初回400mg/m <sup>2</sup> 2回目以降250mg/m <sup>2</sup> 250mL/body		d1・8・15・ 22・29・36	d.i.v	120min (400mg/m <sup>2</sup> 時) 60min (250mg/m <sup>2</sup> 時)	前投薬後30分時間を置く (生食ロック)
Rp.3	生食	100mL/body		d1・8・15・ 22・29・36	d.i.v.	60min	セツキシマブ投与後観察目的
Rp.4	イリノテカン 生食	100mg/m <sup>2</sup> 500mL/body	100mg/m <sup>2</sup> -	d1・8・15・ 22	d.i.v.	90min	

1クルルの期間 6週間  
 その他(副作用・PS規定等)

セツキシマブ初回投与は400mg/m<sup>2</sup>を120分で、投与2回目以降は250mg/m<sup>2</sup>を60分で投与  
 副作用 ①イソソルギゾリアクソン Grade3以上は中止。再投与禁。  
 Grade1~2は投与速度を緩める。緩めた後再度出現時も投与禁。

- ②Grade3以上の皮膚症状時は用量調節(250→200→150)
- ③他に間質性肺炎、低Mg血症、心毒性、消化器障害、血栓、塞栓、創傷治癒遅延、角膜障害など。